

製品名: OTUB2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82827**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	27KDa

抗原情報

遺伝子名	OTUB2
別名	OTB2; OTU2; C14orf137
遺伝子 ID	78990.0
SwissProt ID	Q96DC9
免疫原	大腸菌で発現したヒト OTUB2 (AA:full(1-234)) の精製組換え断片。

背景

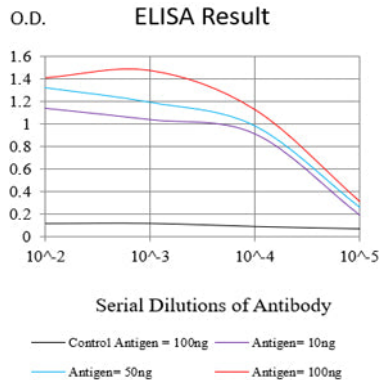
この遺伝子は、数種類の脱ユビキチン化酵素のうちの1つをコードしています。タンパク質のユビキチン修飾は、その安定性と機能に不可欠です。このプロセスを逆転させるため、脱ユビキチン化酵素はユビキチンを除去します。このタンパク質は OTU ドメインを

含み、Ubal (ユビキチンアルデヒド) に結合します。OTU ドメインには活性システインプロテアーゼ部位が存在します。

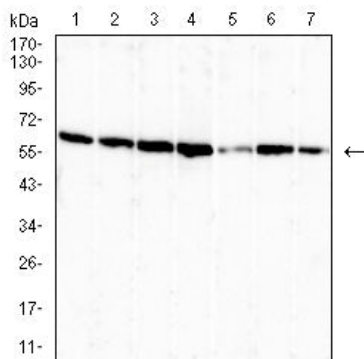
研究分野

-

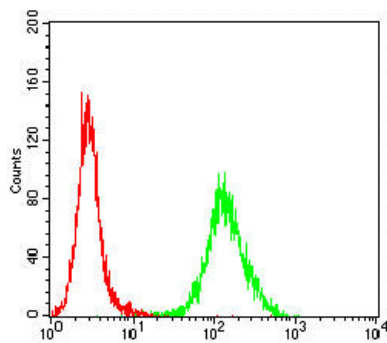
画像データ



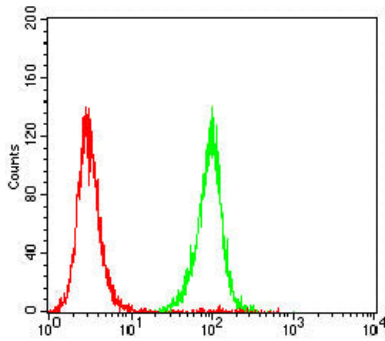
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HepG2 (1) 、A549 (2) 、HT-29 (3) 、MCF-7 (4) 、Jurkat (5) 、Hela (6) 、および Hek293 (7) 細胞溶解物に対する OTUB2 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



OTUB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



OTUB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。